

国際ロータリー・テーマ **世界に希望を生み出そう** (国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー)

地区スローガン **個性、基本、求心力** (第2650地区ガバナー 中野博美)

彦根RC会長テーマ **幸せを分かち合い 心豊かなロータリーライフを** (彦根ロータリークラブ会長 渡邊僖子)

< 認 証 >	1952年10月27日	< 例 会 >	毎週木曜日 12時30分～13時30分	< 2023～2024年度 >	会 長	渡邊 僖子	会長エレクト	田井中 徹
< 例会場 >	料亭旅館 やす井	TEL	0749-22-4670		副会長	大館 康伸	幹 事	松田 充弘
< 事務局 >	〒522-0063 彦根市中央町3-8	彦根商工会議所3階			会 計	澤田 和重	SAA	宮川 基司
	TEL 0749-23-2101	FAX	0749-26-9272	E-mail:	hikonerc@topaz.ocn.ne.jp			http://www.hikone-rc.org/

彦根市内寺院・神社

寺院：宗安寺（彦根市本町）



京橋通りにある浄土宗の寺。佐和山城の正門を移築されたと伝えられています。大坂夏の陣で戦死した、豊臣家の忠臣として名高い木村長門守重成（きむらながとのかみしげなり）を偲んで、重成忌が行われます。井伊道政の正室東梅院の父母の菩提を弔うため上野国箕輪（こうずけのくにみのわ）に建立された安国寺は、佐和山（232.5m）山麓へ移され、宗安寺と改名、その後彦根城築城のさい現在の地へ再度移転されました。元禄の大火で、「赤門（あかもん）」と呼ばれる朱塗りの佐和山城大手門を移築した表門が唯一焼け残り、現在の本堂は江戸時代中期に長浜城付属御殿を移築したものです。また、本尊の阿弥陀如来立像は、大坂夏の陣の時、淀君の念持仏（ねんじぶつ）と思われる仏像を持ち帰ったもので、鎌倉時代の作といわれています。その他、墓所には木村重成の首塚、唐人門、鐘楼、白砂に巨石を配した庭園があります。

第3406回例会 2023. 9. 14

- 開会点鐘
- ロータリーソング斉唱「我らの生業」
- ビジター紹介
- 食事・懇談
- 会長の時間
- 会員のお祝い
- 幹事報告
- 委員会報告
- ニコニコ箱報告
- 出席報告
- 卓話
- 「心豊かなロータリーライフを
楽しむためにやるべきこと」
- ゲスト：滋賀彦根新聞社
山田貴之氏
- 担 当：広報雑誌委員会
- 閉会点鐘

お祝い

- 配偶者誕生日 黒杭君ご夫人亜希子さん(9月19日)
- 結婚記念日 本登君ご夫妻(9月3日)
- 澤田君ご夫妻(9月15日)

理事会報告 (2023.9.7)

1. サッカー教室、サッカー大会の件
第11回サッカー教室
10月9日(祝)13:00～16:00
於. 金亀公園多目的競技場
第47回ロータリー杯少年サッカー大会
10月29日(日)8:30～16:00
於. 金亀公園多目的競技場
2. フリースクールてだのふぁ「みんなのてだ農園」
整備事業の件
10月 3日(火)13:00～ デッキスペースの製作
10月12日(木)13:00～ デッキスペースの製作
10月28日(土)13:00～ 式典
3. 9月14日卓話の件 承認

幹事報告

1. 下記の7名の方に米山功労者感謝状が届きました。
第1回:澤田和重君・菅谷 渉君 第3回:本庄秀樹君
第4回:渡邊僖子君 第5回:杉本克実君
第7回:西村 昭君、宮川基司君

9月はロータリーの友月間です

「友」の編集方針

ロータリー章典に定められた「ロータリーの地域雑誌は、ロータリーの目的をあらゆる面にわたって推進するために存在する」を順守し、編集方針を定めています。

「友」はRIの方針や国内外のロータリアンならびにロータリークラブの活動を読者に紹介することにより、ロータリー活動に対する興味を高め、親睦を図り、ローター精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与することを、発行の目的としています。
(ロータリーの友手引書より)

次回例会案内

- (2023.9.21) 休会
- (2023.9.28) 「新会員スピーチ」
前山俊博君・杉本晋司君

地域別職業奉仕担当者懇談会報告

職業奉仕委員長 嶋津慶子

9月9日(土)地域別職業奉仕担当者懇談会がホテルボストンプラザ草津びわ湖で開催され、出席して参りました。

各地域担当ガバナー補佐も同席で、県内委員長21名参加、3テーブルでのグループディスカッションでした。

堀内ガバナー補佐のご挨拶の後 各テーブル毎に自クラブの職業奉仕事業について話をし、ガバナー補佐、委員長、委員からのアドバイスをお聞きしたり、担当者同士で意見を出し合いました。

コロナで事業がストップしたままのクラブや奉仕事業全体でされるクラブもありました。25年問題が目の前に迫ってきていて、クラブで話をすることも大切だと助言がありました。

RIの職業奉仕に対する考え方もありますが、日本の職業奉仕は粛々とやるべきとお話も聞きました。

テーブルの方とは親近感の持てる懇談会でした。

前回例会報告

会長の時間では、いろんな意味で困窮を抱える子供たちが私たちの身近にあり、その子供たちに支援を差し伸べたいとの思いがある。フリースクール『てだのふぁ』の山下先生とお会いする機会があり、我々ロータリアンができることがないかを考え、社会奉仕委員会を中心に、メンバー全員の力をお借りして進めていきたいと考えているのでご支援をお願いしたいと話されました。



続いて、米山奨学生のイエンさんが、先月ベトナムに1ヶ月帰省した。毎日いっぱい食べて、遊びに行った。本日は皆さんにベトナムのお土産を用意した。皆さんにおいしく食べていただければ嬉しいと話されました。

本日の卓話は、NPO法人フリースクール「てだのふぁ」の代表 山下吉和氏より「子らの命輝く！～フリースクールからの伝言」と題して卓話をいただきました。

フリースクール「てだのふぁ」は2020年4月に開校し、現在は京町1丁目の古民家を改装して運営している。「てだのふぁ」は沖縄の言葉で「太陽の子」という意味。現在は通常スクールを週4回開校し、その他、自然教室、教育相談、学習支援、親の会などを開催している。フリースクールは不登校



の子が通ってくる場所である。最初は疲れ切った様子で通ってくる子たちが、様々な活動を通じて心を開き、元気になっていく。その活動を多くのスタッフが支援している。

出席報告

	会員数	当日出席	メーキャップ ^o	出席率(%)
9月 7日	49(9)	37(5)	0	82.22
8月24日	49(9)	29(3)	0	

昨年度は、全国の小学校で8万人、中学校で16万人、高校は5万人を超える生徒が不登校となっている。小中は9年連続で増加し、24万人を超えている。一度不登校になれば長期化する傾向にある。彦根市は小中学生で318名が不登校となっている。中学校で例えると各中学校で1クラス分、30名程度が不登校となっている。子供の数は減っているのに不登校の生徒数は増えている。都会、田舎関係なく、全国どこでも存在し、誰にでも起こりえる。「学校は何のためにあるのか」、「教育は何のためにあるのか」と根源的な意義が問われるほど、不登校の課題は深刻化している。教育の目的は、本来、人格の完成を目指すとしているが、現在の教育システムは管理化され、過度な競争教育が行われている。日本の先生は、世界で一番過密な労働時間を強いられており、長時間労働を強いられ、閉塞感を感じている。子供たちの基本的な願いは「勉強がわかりたい」、「みんなとともに、楽しい学校生活を送りたい」、「友だちや先生から認められたい」であるが、先生が対応できない状況であり、小学校低学年から不登校の相談にくる子がいる。不登校は命に関わる重大な教育課題であり、今後も「てだのふぁ」の活動を通じて少しでも解決できるように取り組みを行っていきたくと話されました。

おさま

山下吉和氏

(ゲスト:NPO法人フリースクールてだのふぁ代表)

ドアン・ティホアン・イエンさん(米山奨学生)

ニコニコ箱

(本日計 36,000円・累計 363,000円)

てだのふぁ山下先生、本日はよろしくお願いいいたします。

イエンさん、お土産ありがとう…渡邊君

フリースクールてだのふぁ代表 山下吉和氏、卓話よろしくお願いいします…青木君

山下先生、本日は卓話よろしくお願いいいたします…松田君

フリースクール代表 山下様、お越しいただきありがとうございます…鈴木君

てだのふぁ代表の山下さん、本日の卓話楽しみにしています。これからも子ども達のために頑張ってください…伊藤君

ちょっといいことがありました…今村君

誕生日を祝っていただいて…中川君

妻の誕生日を祝っていただいて…杉本(克)君、菅谷君入会させていただき早や15年たちました。今後ともよろしくお願いいします…大館君

米山功労者感謝状を頂きまして…本庄君、澤田君第4回米山功労者感謝状を頂きありがとうございます…渡邊君

入会月は10月です…細江君

猿すべり 豚もおだてりゃ 木に登る…正村君
他クラブプログラム予定

9月15日(金)	長浜東RC	『『みどりの森』事業の歩み・豊公園』
9月18日(月)	長 浜RC	「休会」
9月18日(月)	五・能RC	「休会」
9月19日(火)	彦根南RC	「休会」